

Chemical Bonds 支部／教育・普及部門だより

クイズショー小委員会発

化学の日イベント 「なぜナニ化学クイズショー」

10月29日(日)に、「はまぎん こども宇宙科学館」(神奈川県横浜市)で、化学の日のイベントとして「なぜナニ化学クイズショー」を行いました。「なぜナニ化学クイズショー」は、化学に関するクイズを3問出題し、実際に実験をしながら答えの確認、解説をするという形式で進められます。クイズショーは、午前と午後の2回行い、延べ50人程度の未就学児から小学生の子どもたちが参加しました。

1問目は、内藤卓也氏(株式会社東芝)による「ケミカルライトは暑い日と寒い日でどちらの方が明るく光るでしょう?」でした。答えの確認では、発光させたケミカルライトをお湯と氷水に浸し、明るさを比較しました。お湯に浸すとより明るくなり、氷水に浸すと暗くなる様子を見



て、子どもたちは驚いていました。2問目は、岩井秀人教諭(逗子開成中学校・高等学校)による「レーザーの光のすじを、偏光板を回しながら見ると、どのように見えるでしょうか?」でした。偏光板とレーザーが出てきて、参加した子どもたちには少し問題が難しかったようですが、化学の不思議さを感じてもらえたようでした。3問目は、筆者による「青緑色にした紫芋の色水にドライアイスを入れると、色水の色はどのようなでしようか?」でした。ドライアイスを入れた時の色の変化の様子を、子どもたちは楽しそうに見ていました。

化学の日のイベント「なぜナニ化学クイズショー」に参加した子どもたちは化学のクイズを通じて、化学の楽しさ、不思議さを感じてくれたのではないかと思います。また、来年度もクイズショーを実施できたらと思います。

(宮本一弘 開成中学校・高等学校 教諭, クイズショー小委員会委員)